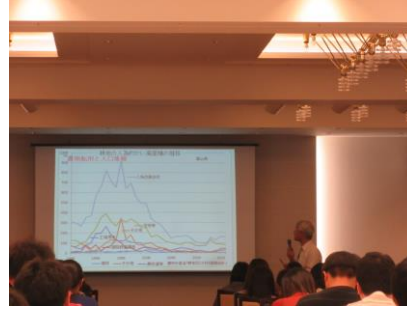


大学コンソーシアム富山 令和元年度「とやま地域学」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和元年度共同授業科目「とやま地域学」
実施機関	富山国際大学
趣旨・目的	富山の歴史・文化、富山湾、立山連峰に代表される自然環境、そしてものづくりをはじめとする産業など、データやフィールドワーク(現地研修)を通して「とやま」を知ること、そして21世紀の富山や世界の姿を展望する。
開催日時	令和元年9月2日(月)～5日(木)の4日間 1日4コマ×4日間の集中講義
開催場所	富山県民会館8階バンケットホール、富山県農協会館8階大ホール
参加人数	学生148名 【内訳】・富山大学26名 ・富山県立大学79名 ・高岡法科大学9名 ・富山高等専門学校6名 ・富山国際大学28名
事業内容	<p><b>【2019年度概要】</b></p> <p>2016年の新幹線の開業以来、国内外からの観光客をはじめ来県者が増えている。一方、少子高齢化が一段と進み、地方の活力低下が懸念されることから、2018年より富山県新総合計画「元気とやま創造計画ーとやま新時代へ 新たな挑戦ー」がスタートした。</p> <p>今年度のとやま地域学のテーマは「富山の魅力と宝もの発見」とし、県内大学生の皆さんに富山への理解を深めてもらおうと企画した。地元住民の専門家から、「データから見る越中・富山」、「豊かな森・里・川・海の自然環境」の視点で学び、富山の魅力と課題を理解し、一人ひとりが輝く富山の地域づくりについて考えることを目指す。</p> <p><b>第1日目：9月2日(月)</b></p> <p>①オリエンテーション</p>  <p>②富山の政策と未来を語る (富山県知事 石井 隆一 氏)</p>   <p>③豊かな富山</p> <p>④大転換・富山の戦略 (富山地域学研究所長(元富山国際大学教授)浜松 誠二 氏)</p>



**第2日目：9月3日(火)**

⑤越中(富山県)の歴史—大伴家持と富山

⑥越中(富山県)の歴史—中世の社会

⑦越中(富山県)の歴史—富山藩の大名たち

(前富山国際大学 現代社会学部 非常勤講師 米原寛 氏)



⑧北前船と富山

(富山県総合政策局企画調整室 参事 松島 吉信 氏)



**第3日目：9月4日(水)**

⑨富山の自然—富山の特産サクラマス—

(富山県農林水産総合技術センター水産研究所 所長 田子 泰彦 氏)



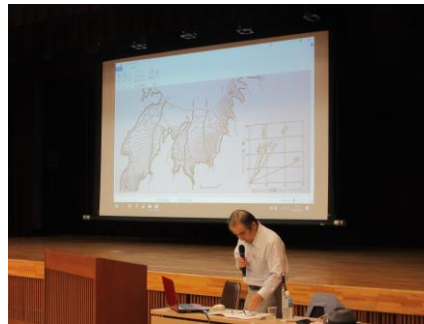
## ⑩富山の自然と防災

(富山県立山カルデラ砂防博物館 学芸課長 飯田 肇 氏)



## ⑪富山の自然と地域づくり

(早稲田大学名誉教授 宮口 侗迪 氏)



## ⑫富山の自然—おいしい水の秘密

(富山国際大学 現代社会学部 教授 尾畑 納子 氏)



## 第4日目：9月5日(木)

### ⑬～⑮現地研修

立山カルデラ砂防博物館、広貫堂資料館、高岡市万葉歴史館

(富山国際大学 現代社会学部 教授 尾畑 納子 氏)



立山カルデラ博物館にて





広貫堂資料館にて



高岡市万葉歴史館にて